



滝沢市消防団第6分団(担当一本木地区)

第58号

今号の主な内容

- 市民懇談会……………①
- 市民議会……………②～③
- 一般質問……………②～④
- かっこうのさえぎり/
議決一覧/今後の予定など…④

発行責任者: 滝沢市議会議長
編集: 広報常任委員会

【滝沢市学童保育連絡協議会】

令和6年12月18日開催



ひかりの森学童クラブ

懇談会前に市連協に加盟している
4施設を視察し、学童保育の
適正規模や各クラブの現状と課題を
伺い、意見交換しました。



巣子学童保育クラブ第一



巣子学童保育クラブ第二



巣子学童保育クラブ第三

市民懇談会

滝沢市議会では、市民団体と議員が情報や意見を交換する場として「市民懇談会」を開催しています。各団体から申し込みがあった場合または議会から申し込んで開催します。



テーマ【子ども達の未来のために】

- ①安全な地域づくり
- ②地域での学びの場づくり

を中学校区ごとに懇談し、話題となったことを
グループごとに発表しました。



【滝沢市PTA連絡協議会】

令和7年1月27日開催

▼柳沢小学校

佐々木結菜さん「誰もが住みよいまち」
障がいがある人もない人も誰もが住みよい滝沢にするために、障がいや福祉をよりたくさんの人に知ってもらう行事として「十人十色フェス」の開催を提案します。



佐々木桐子さん「誰もが住みよいまち」
子ども達や地域の人たちが安全に過ごせ、子ども達の居場所、地域のつどいの場がもっと身近にできたらと思います。

▼一本木小学校

飯岡月煌さん「みんなに優しいまちに」
お年寄りや認知症の方が暮らしやすいように、福祉バスの本数や路線を増やしたり、認知症の方むけのタクシーを作ったりするのはどうでしょうか。誰かが困っている時にすぐ気がついて助けられる、優しさがあふれる滝沢市になって欲しいです。



飯岡真理子さん「みんなに優しいまちに」
滝沢市の運動機能向上教室は、開催会場までの交通手段がないという課題が考えられ、心配なく会場へ向かえる手段があることが理想の形と考えます。

▼滝沢小学校

羽鳥望桜さん「誰にでもやさしい街づくり」
滝沢市の身近な施設や場所でユニバーサルデザインを取り入れたものが増えると、どの人も住みやすい所になると考えました。みんなにやさしく、過ごしやすい滝沢になることを考えていきたいです。



佐々木亜弥さん「子どもが安全安心に過ごせる滝沢」
子ども達の命を守るために、滝沢ふるさと交流館の交差点に歩道橋の設置やスクランブル交差点の設置を提案します。しかし、現実的には難しいので、皆様のアイデアを伺いたいです。

▼鵜飼小学校

山崎萌衣さん「私の道を支える ふるさと滝沢」
「私の道を支える ふるさと滝沢」
小学校生活を通して、心に残る大切なものはすべて、このふるさと滝沢から始まることを実感しました。これからも伝統を生かしたまちづくりや、人とのコミュニケーションを大切にできる取り組みが続く滝沢市であってほしいと思います。



長瀬怜子さん「私の道を支える ふるさと滝沢」
市内の小学生が年に一度チャグチャグ馬コと触れ合える取り組みを提案します。校庭に馬が来て触れ合える経験が、自分のふるさとへの愛着のきっかけとなると思います。

▼滝沢第二小学校

立花大和さん「妹が生まれて気づいたこと」
ベビーカーを使うことでバリアフリーの多さなど、ぼくの周りには誰にとってもやさしい設備がたくさんあることに気がつきました。困っている人を助けてあげれば、みんなが安心して生活できる社会になると思います。



三浦朝之さん「安心・安全に暮らせるまち滝沢」
公共施設などではバリアフリーが浸透する一方、滝二小学区ではたくさん危険がひそんでいます。ここ滝沢市に住みたいと思える環境づくりを官民が連携しながら市が発展することを願います。

▼滝沢中央小学校

伊藤心さん「みんなのためにできること」
福祉とは「ふだんの暮らしをしあわせに」の頭文字です。お年寄りが安心して生活するために、滝沢市が行っている取り組みとこれから考えている取り組みを教えてください。



内藤里美さん「みんなのためにできること」
まだまだ福祉の手を差し伸べられるのを待っている方がいるかもしれません。市として、そのような方を一人でも少なくするような取り組みや実績を教えてください。

市民議会を開催しました！



【テーマ】 ともに生きる滝沢 令和 7 年 2 月 2 日開催

▼姥屋敷小学校

長嶺明仁さん「姥屋敷の地域のつながりを保つために」
地域の行事に参加するのは子どもやその親とお年寄りがほとんどで、高校を卒業して姥屋敷から出て行った若い人たちが帰ってくることは少ないです。若い人たちがたくさん参加してくれると、もっと活気づいて盛り上がり我想います。



宮林恵さん「やさしさに出会える姥屋敷」
市民の皆さんも姥屋敷に来て、遊んで、学んで、交流していただき、やさしさに出会って、ぜひ胸が熱くなって欲しいです。

▼篠木小学校

八木岬さん「篠木小学校について」
篠木小の良い所は電車通学でのルールが身につくことや、150年の長い歴史があり、伝統芸能を通して地域の人と交流できることです。中学生になっても篠木小で学んだことを忘れず、頑張っていこうと思います。



八木巧さん「これからの小岩井」
自治会活動では親世代の参加が少ないです。東日本大震災が地域の「ともに生きる」ことが見直された機会だったことを思い出し、地域と共に深く生活ができるようにと思っています。

▼滝沢東小学校

関村歩叶さん「誰でも楽しめる公園にするために」
アスレチック遊具やボール遊びができる公園、ドッグランや散歩コースがある公園を整備することで年齢に関係なく、誰でも楽しめる公園になると思います。そのような公園が増えていくことで、より魅力ある滝沢市になると考えます。



関村直道さん「滝沢市に住んで思うこと」
地域で空き家を活用して、人口を減らさないための魅力づくりが必要と思います。また、デジタルに不慣れな人を置いていかないような対応をお願いします。

災害拠点の
上下水道対策
について等

噴火災害時の急所施設
の上下水道対策は。
停電対策として取水
施設および浄水施設に非
常用発電設備を備えてお
り、水源間の相互融通を
強化するため盛岡広域で
の連携を進めます。

多様な担い手が意欲
と希望をもって生産に取
り組める政策は。
市は、家族経営を

物価高騰対策の緊急
直接支援の考えは。
配合飼料費をはじめ
とした生産コストの高騰
や家畜市場価格の下落な
どにより、酪農家・畜産
農家は経営に大きな影響
を受けていると捉え、来
年度には酪農家・畜産農
家に対して支援してい

本市の
酪農・畜産
について

一般質問《2月会議》

本市の部活動の方針
に「部活動は、生徒の自
主的・自発的な参加によ
り行われているものであ
ることに留意すること」
とある。
盛岡市のように「ただ
し、部活動のもつ意義等
を説明したり、加入を推
奨したりすること」を妨
げるものではないことと
但し書きを加え、新年度
に向け各中学校に示すべ
きでは。
各校では生徒に部活

中学校の
部活動所属
について等

土砂災害警戒区域
の追加に伴う
対応について

土砂災害警戒区域な
どの認知度向上を図るた
めの取り組みは。
市のHPで閲覧でき
る「たきざわeマップ」の
システム改修を行った上
で、広く周知を図ります。
土砂災害に対する予
報・警報につながる科学
的知見の収集は。
国、県および盛岡地
方気象台と連携し、土砂
災害予測技術の向上に係
る情報収集に努めます。
避難場所 避難経路

土砂災害警戒区域な
どの見直しも含めた本
市の防災マップの修正は。
国、県などの関係機
関と協議の上、防災マッ
プの改訂および全戸配布
を検討します。
実効性のある避難を
具現化させるため、土砂
災害警戒区域などの標識
のデザインや設置場所は。
区域指定されている
場所であることが分りや
すく伝わるような標識の
設置を県と調整し、対応
します。

過去の土砂災害事例から、
住民に危険性が十分に
伝わっていなかったこと
や避難体制が不十分な
ことが明らかとなったこ
とから質問しました。

議員からひとこと

噴火災害時の急所施設
の上下水道対策は。
停電対策として取水
施設および浄水施設に非
常用発電設備を備えてお
り、水源間の相互融通を
強化するため盛岡広域で
の連携を進めます。
市有馬の無償譲渡の
取り組みに加え、新たな
飼養頭数を増やす取り組
みは検討が必要と考えま
すが、共同馬主制度や預
託施設、経済的支援の在
（その他の質問）

重層的な支援体制整備
事業の進捗状況は。
他分野連携会議とし
て、庁内関係課のプロジェ
クトチーム会議、庁外機
関を含めた推進会議を開
催し、実施計画などの確
認を行いました。

酪農家や畜産農家が、
今後も経営を維持してい
けるよう、来年度は支援
を行います。

大規模経営や法人
新規就農などさまざまな
経営形態により持続的に
酪農業や畜産業を継続し
ていけるよう、農家の皆
様と意見交換をしながら
引き続き支援をします。

県では事業者支援と
なる配合飼料価格安定緊
急対策補助の補正予算が
可決されたが市の対応は。
酪農家や畜産農家が、
今後も経営を維持してい
けるよう、来年度は支援
を行います。

議員からひとこと

学習指導要領解説が一部改訂され「部活動に全生徒が一律に加入しなければならないものではない」と明記された。保護者生徒に明確に伝えるべきでは。

議員からひとこと

議員からひとこと

議員からひとこと

議員からひとこと

議員からひとこと

議員からひとこと

各関係機関の相談件数が増加し、8050問題や引きこもり、子育て世代の孤立など、複雑化、複合化が見られ、重層的支援体制整備事業の充実が求められています。

議員からひとこと

議員からひとこと

議員からひとこと

議員からひとこと

議員からひとこと

議員からひとこと

議員からひとこと

議員からひとこと

議員からひとこと

議員からひとこと

議員からひとこと

議員からひとこと



かっこのさえずり

No.13

市民のみなさんの声をシリーズでお届けします。



プロフィール

○出身地：北海道伊達市
○職業：フリーフォトグラファー
○趣味：アウトドア(キャンプなど)
○第6分団で初めての女性団員(入団8年目)
○小中学生4人のお母さん

地域の安全・安心を守りたい

井上 真澄 さん

女性消防団員になって

《入団のきっかけ》
以前からボランティアに興味があり、消防団活動をしている夫の姿を近くで見ること、私も何かできないかと考えていました。夫からポンプ車は2人以上の出動が原則と聞いており、夫婦で出動できれば迅速に消火活動に向かえるのではと考え入団しました。

《活動して気付いたこと》
男性中心で行ってきた活動なので、体力が追いつかず大変でした。活動してみて家庭、仕事、消防団と3つの立場を両立していくのも難しいと感じました。また、火災現場でのトイレの確保も重要と考えています。

《団員になって良かったこと》
女性だからなどの偏見もなく分団に自然に受け入れてもらい、自由に活動させてもらっています。力仕事は厳しいですが、ポンプ車の操作などの技術を学べて、やりがいを実感しています。

今後の活動への思い

《地域を守る》
こども達からも「消防団に入りたい。お母さん頑張って」等の声を掛けられています。家族で地域の安全・安心を守っていければと考えています。地域の子育て世帯のお母さんやお父さんたちと、心肺蘇生法など救急救命法を学ぶ場を作りたいです。

私が最も伝えたいこと



令和7年2月会議(2月4日～2月5日) 議案9件・発議1件を審議

●可決議案 ※案件名は省略しています。正式名称の問合せは議会事務局へ。

議案第1号	6年度一般会計補正予算(第8号)	723,947
議案第2号	6年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	△2,508
議案第3号	6年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	298
議案第4号	6年度介護保険特別会計補正予算(第4号)	224
議案第5号	6年度介護保険介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)	371

●上記の内、賛否が分かれた議案

議案第6号	一般職員の給与に関する条例の一部改正
議案第7号	常勤特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
議案第8号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
議案第9号	上下水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正
発議第1号	議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正

結果 ○賛成 ×反対		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	表決議員数	賛成票数	反対票数
※角掛邦彦議員は議長であるため採決には加わりません。 ※日向裕子議員は欠席です。		奥津一俊	菅野福雄	藤原治	佐藤澄子	柳橋好子	日向裕子	安部理絵	村木香織	川口清之	仲田孝行	小田島清美	相原孝彦	齋藤明	山谷仁	鍵本桂	井上仁	遠藤秀鬼	日向清一	稲荷場裕	角掛邦彦			
議案第2号	6年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	※	18	17	1

傍聴者からの意見・感想(12月会議)

【意見】 猟友会としては、今解決出来ない問題には、時間をかけないことを望みます。猟友会は、市から要請されると断ることなく協力している。通学路の草刈が進んでいると言っているようだが、決して進んでいると思えない。解体場所も早急に進めてほしい。

【回答】 今後議会として注視し、対応が進むようにさまざまな機会を捉え市当局へ働きかけを行います。

【意見】 生産者の補助制度の拡充や、市街化調整区域内の遊休資産の活用ができるような方法があるか議論してほしい。

【回答】 今後議会として注視し、対応が進むようにさまざまな機会を捉え市当局へ働きかけを行います。

4～5月の予定

4月10日(木)	議会運営委員会・全員協議会
4月15日(火)	議会運営委員会
5月13日(火)	議会運営委員会・全員協議会

このほか常任委員会ごとに随時日程を決定し活動します。
いずれの会議も傍聴することができます。お気軽におこしください。

議会におでんせ!

傍聴者数
2月会議…7名



ちびほん

滝沢市議会

検索

市議会のくわしい情報は、滝沢市議会ホームページをご覧ください。
※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。



特産品や名産品などの掘り起こしについて等

【問】水道水の特産品化は。

【答】水道水源としての地下水の良さを市内の水道利用者に伝え、豊富な水資源を将来に向けて保全していくとともに、生活の基盤である水資源が豊かな環境であることを市外へPRし交流人口・定住人口増をめざします。

【問】地下水を活用した鮭のふ化のPRは。

【答】岩手山の伏流水の中で生まれた稚魚が三陸の海で成魚に育つというス

【問】第三者の目を通した特産品や名産品などの掘り起こしは。

【答】農産物地域ブランド化推進事業で6次産業化や農産物のブランド化の支援および助言を委託事業として取り組む等、外部資源を活用した地域産

トリーは、滝沢ブランドの一つと考えており、滝沢生まれのサーモンとしてふるさと納税返礼品への登録をめざし進めています。



地域の特産品や名産品は本市の宝です。地域にはまだまだ多くの宝が眠っています。宝を掘り起こし、それをきっかけに地域の活性化が図られると思っています。

議員からひとこと



公明党
おだしま きよみ
小田島 清美 議員



議会事務局 〒020-0692 岩手県滝沢市中鶴飼55 TEL.019-656-6591 FAX.019-684-4195
https://www.city.takizawa.iwate.jp/ E-mail:gikai@city.takizawa.iwate.jp



UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。